

2 石巻圏域における観光振興施策について



仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸

【参考】令和7年度みやぎ観光振興会議での御意見

施策1 戦略的な観光地域づくり

現状・課題

- ビジネス客の観光再訪促進のため、観光施設と連携したプラン造成や特典提供など、**満足度を高めるコンテンツが必要**である。
- 宿泊施設不足による日帰り・通過型観光への対策として、**圏域内外連携による周遊ルートや体験型プログラムの造成が必要**である。
- 多様な観光資源を十分に活用できていないため、観光地の魅力を引き上げ、**滞在価値を高めるための更なる磨き上げが必要**である。
- 観光産業の収益向上のため、「石巻圏域ならでは」の高付加価値サービスを充実させ、**観光客の消費行動を喚起する必要がある**。

充実させたいコンテンツ例

宿泊者を増やすため、「石巻ならでは」の観光コンテンツで満足度を高め、戦略的プロモーションで誘客促進を図る

「石巻圏域ならでは」の 観光プログラムの開発・提供



農業や漁業等の体験
と食を組み合わせたツ
アー造成



マリンスポーツ等の体
験コンテンツ開発・商
品造成



一次産業連携による
体験コンテンツ開発



先進地域等のアドバ
イザーによる助言等

宿泊客の満足度を高め、 滞在を促すためのサービス充実



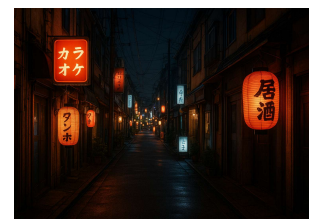
コンセプトルームなど
による特別感の提供



イベントでのファスト
パスなど、限定サービ
スや特典の提供



滞在時間の延長と観光消費拡大を図る
ナイトタイムコンテンツの開発・広報



ターゲットを絞った 戦略的プロモーションの強化



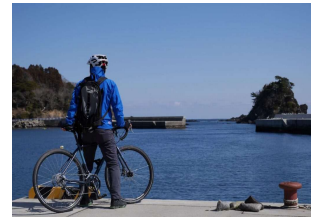
外国人に人気の観光
スポットの発信強化



宮城オルレ利用者の
宿泊誘導



スポーツ合宿や全国
練習会等の誘致



スポーツツーリズムの
推進

【参考】令和7年度みやぎ観光振興会議での御意見

施策2 周遊性向上のための二次交通対策

現状・課題

- 観光施設間の移動（アクセス）が不便であり、**圏域内を観光周遊するための交通手段の確保が必要**である。
- 主要観光地への案内表示が不足しているため、**旅行者のナビゲーションを強化し、アクセス環境を改善する必要がある**。

移動手段の充実に向けた取組例

周遊・滞在促進に向けた移動環境の整備



地域内の観光スポットをつなぐ観光周遊バス運行やデマンド型交通の導入



レンタサイクルや電動キックボードなど、個人客向けの移動手段の確保



自動運転バス等の最新技術を取り入れた実証実験



道路標識や観光案内表示の整備



EV充電設備の設置等に対する補助



地域資源を活用した体験型の移動サービスの導入

多くの観光客が集まる 仙台・松島等からの誘客の促進



松島～奥松島定期定期航路の活用



JR仙石線などの公共交通と連携した広域周遊との強化



仙台空港からの直行便による誘客の強化



観光客向け交通手段や周辺案内サポート

宿泊や優遇サービスの提供



観光周遊タクシーの1日フリーパス無料券の発行



送迎付きの体験型パッケージの提供

石巻圏域インバウンド戦略構築・発信基盤整備事業

～単発的な情報発信から、持続可能なインバウンド誘客プロモーションの強化～

【予算額】

8,000千円

うち宿泊税：4,000千円

宿泊税活用事業

(1) 背景・課題

1 海外市場における認知度不足

- 石巻圏域は歴史・食・自然・震災伝承など独自性の高い観光資源を有する一方、海外市場に向けた戦略的な情報発信が十分ではなく、訪日外国人旅行者に広く認知されていない状況にある。

2 プロモーションの断片化

- 多言語サイトやSNS発信は個別に行われているが、ターゲット市場を明確化したブランド戦略やデータに基づく発信設計が確立されていない。

3 宿泊・滞在型観光への波及不足

- 日帰りでの観光が中心であり、インバウンドによる宿泊需要の取り込みが限定的。滞在型商品造成と連動したプロモーションが必要。

(2) 宿泊事業者部会や圏域会議での主な意見

- インバウンド増加局面を逃さない戦略的対応が必要
- 単発的な広告ではなく、ターゲットを明確にした継続的発信を行うべき
- 宿泊に結びつく商品造成と一体化したプロモーションが重要
- 海外旅行会社・OTAとの連携強化が必要
- データ分析を踏まえたPDCA型の事業展開が求められる

(3) 事業内容

▶ 目的 海外市場に対する情報発信力を強化するため、訴求力の高いプロモーション素材を体系的に収集・制作し、戦略的な情報発信を行う
→ 「分析～制作～蓄積～活用～改善」の循環を図る中長期戦略

1 ターゲット市場分析



海外市場における訪日旅行の動向等を分析し、本圏域への誘客可能性を踏まえ、重点ターゲット市場を設定する。

重点ターゲット市場の明確化

2 プロモーション素材制作



ターゲット市場分析を踏まえ、本圏域の観光資源の魅力を効果的に発信するためのプロモーション素材を制作する。

訴求力のある素材の制作

3 素材データベース整備



制作したプロモーション素材を継続的に活用できるよう整備・蓄積し、地域関係者が円滑に利活用できる環境を整備する。

地域関係者も利用できるデータベースの整備

4 海外向け発信の強化



プロモーション素材を活用し、海外市場に向けた継続的かつ戦略的な情報発信を実施する。情報発信の効果測定及び改善を行い、発信力の向上を図る。

効果測定と改善を繰り返す循環型運用

(4) ロードマップ（3箇年事業）

令和8年度 発信基盤の構築

1 ターゲット市場分析

- ・ 訪日外国人旅行者の動向分析（国・地域、滞在日数、消費傾向等）
- ・ 海外旅行会社へのヒアリング
- ・ 管内観光関係者との意見交換

2 海外向けプロモーション素材の収集・制作

- ・ 観光資源の写真・動画撮影、記事作成
- ・ 既存素材の整理・再編集

3 素材データベースの整備

- ・ 用途別（SNS、WEB、商談用等）分類

4 海外向け情報発信

- ・ 公式WEBサイト多言語ページの立ち上げ

令和9年度（予定） 効果測定による発信の最適化

1 不足分野の素材追加

- ・ 季節コンテンツの補完
- ・ 外国人目線での体験型コンテンツの素材制作

2 情報発信の高度化

- ・ 閲覧データ分析等の効果測定による発信の改善

3 地域向け活用勉強会の実施

- ・ 管内観光関係者向けの「素材活用研修」
- ・ SNS発信方法講座
- ・ 商談・メディア対応時の素材活用方法共有等

令和10年度（予定） 行政主導から地域主体へ移行

1 重点テーマ素材の強化・更新

- ・ 反応の高いコンテンツの再撮影、ブラッシュアップ
- ・ リピーター向け深掘り素材制作

2 素材活用の地域内定着

- ・ 実践型ワークショップの開催
- ・ 素材活用ガイドライン・マニュアル整備

3 自走体制への移行

- ・ 地域内での運用ルール確立
- ・ 素材管理、更新の役割分担整理

最終目標

海外市場における認知度向上と誘客拡大

滞在型観光の定着

観光消費額の増加

石巻圏域ゲストガイド整備事業

～「安全・安心」と「滞在価値」を高める統一的な情報基盤の構築～

【予算額】

2,000千円

うち宿泊税：1,000千円

宿泊税活用事業

(1) 背景・課題

1 宿泊者数の回復に向けた取組の強化

- ビジネス需要の減少等により宿泊稼働率の回復が十分でなく、観光目的での滞在促進が課題のほか、滞在時間の延伸及び圏域内消費額の増加を図る取組が必要。

2 観光情報の一元化と信頼性の確保

- 旅行者はスマートフォン等で情報収集を行っているが、情報の正確性・網羅性に課題があるほか、地域として統一的かつ信頼性の高い観光情報の整備が求められている。

3 宿泊・滞在型観光への波及不足

- 外国人観光客への多言語対応や災害時の行動案内など、安全・安心に滞在できる環境整備が必要なほか、東日本大震災の被災地として、防災文化の発信と復興伝承の継続が重要。

(2) 宿泊事業者部会や圏域会議での主な意見

- 観光情報を圏域として一元化し、宿泊施設から統一的に案内できる仕組みが必要。
- 災害時の避難情報や防災情報を分かりやすく整理してほしい。
- 周辺観光スポットを組み合わせたモデルコース等があると周遊促進につながる。
- QRコード等を活用し、更新しやすいデジタル連携が望ましい。
- 宿泊税の使途が見える形で、宿泊者に還元される取組とすべき

(3) 事業内容

▶ 目的 宿泊者に対して「安全・安心」と「滞在価値の向上」を提供するとともに、周遊促進による滞在時間の延伸及び圏域内消費額の増加を図る。

【コンテンツ】楽しみと備えの両立

一体的情報提供



観光スポット、防災情報、復興の歩み（震災遺構・伝承施設）を掲載

（紹介例）：

みやぎ東日本大震災津波伝承館、震災遺構門脇小学校、等

滞在時間別モデルコース



行動を具体化し域内消費を拡大。

「2時間（チェックアウト前）」、「半日」、「1日」等の提案型構成。

（紹介例）：

萬画館 → ヒトコマで体験 → 元気いちば（食事）等



QRコードを活用したデジタル連携

5,000部製作

圏域内の宿泊施設の全客室に設置
（統一感のある情報発信）

【ユーザビリティ・仕様】安心と利便性の確保



災害時行動フローの明示：

最寄りの避難所、避難経路、津波発生時の手順を図解とビクトグラムで視覚化



多言語&デジタル連携：

日本語・英語等に対応。QRコード連携で「最新イベント」「詳細マップ」「多言語ページ」へ誘導し、紙のボリュームを最適化。



宿泊税活用の明示：

最寄り税の使途を可視化し、地域としての受入体制強化の姿勢を提示。

(4) ロードマップ（3箇年事業）

令和8年度

○ 宿泊施設客室内に設置する圏域共通のゲストガイドを制作

- ・観光情報、防災情報、復興伝承情報を掲載
- ・避難所・避難経路、災害時の行動フローを明示
- ・震災遺構や復興伝承施設を紹介
- ・滞在時間別（2時間・半日・1日）のモデルコースを掲載
- ・多言語対応
- ・QRコードを活用したデジタル連携

令和9年度（予定）

○ 初年度に整備したガイドの内容を更新・改善

- ・年1回の掲載内容見直し
- ・宿泊事業者及び観光団体との定期的な意見交換
- ・デジタルページの継続更新
- ・復興伝承情報の継続的な発信
- ・宿泊税活用の趣旨を引き続き明示

令和10年度（予定）

○ ガイドの継続的な更新と活用が地域内で定着する仕組み整備

- ・年1回の掲載内容見直し
- ・宿泊事業者及び観光団体との定期的な意見交換
- ・デジタルページの継続更新
- ・復興伝承情報の継続的な発信
- ・宿泊税活用の趣旨を引き続き明示

御意見を頂戴したいこと



仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸

御意見を頂戴したいこと

石巻圏域における観光振興施策について

石巻圏域における観光振興施策に係る御意見はありますか？

例①：

石巻圏域で磨き上げていきたい観光資源・コンテンツについて、御意見をお願いします。

（例：集客力のあるコンテンツ、閑散期対策に繋がるコンテンツ、宿泊に繋がるナイトタイムコンテンツ 等）

例②：

石巻圏域における観光振興施策に対する御期待や御意見はありますか？

（例：インバウンドは、特に訪県数が多い台湾市場に絞るべきでは、造成したツアーを販売までつなげるための取組が必要 等）

御意見を頂戴したいこと

以下の3つの視点も参考に御意見をお願いします。

- 【視点①】地域の観光業が抱える課題への対応・地域の魅力創出に向けた施策など“地域”視点での検討に加え、隣接圏域等との連携による“広域周遊”の視点を踏まえ施策を検討
- 【視点②】宿泊税を納める“納税者(宿泊者)”の視点で有益な使い途施策を検討
- 【視点③】“地域経済活性化”の視点で、滞在時間が長く、消費額単価が高いインバウンドや宿泊観光客の増加に向けた施策や高付加価値化に向けた施策を検討